

安倍改憲を許さない！

社民党憲法連続講座2018



第1回：自民党改憲案を斬る！

■自民党は改憲の動きを加速させるため、3月の党大会で具体的な改憲条文を示すとされていました。モリ・カケ問題や公文書改ざん問題などで支持率が急落する中、条文案を示すに至らなかったものの、自民党憲法改正推進本部の集約を経て安倍改憲の姿がハッキリしてきました。安倍改憲の全体像に迫ります。

- 講師：永山 茂樹 氏（東海大学法科大学院教授・憲法学）
※1960年・横須賀市出身。著書に「戦争法が狙うもの」など。
- 日時：4月18日（水）18時～
- 会場：衆議院第1議員会館 多目的ホール

第2回：9条加憲がもたらすもの

■安倍改憲の最大の狙いが「第9条」であることは明確です。首相は「違憲論争に終止符を打つ」と意気込みますが、解釈の議論があるから憲法を変えるとはあまりにも乱暴で本末転倒です。「1・2項を維持し自衛隊を明記する」改憲で、平和主義は維持できるのか。9条加憲の意味を検証します。

- 講師：清水 雅彦 氏（日本体育大学教授・憲法学）
※1966年生れ。平和主義・監視社会論が専門。1000人委員会事務局長代行など。
- 日時：5月23日（水）18時～
- 会場：衆議院第1議員会館 大会議室



第3回：平和憲法と「緊急事態条項」の危険

■自民党の改憲案は、緊急時の国会議員の任期延長や、政府への権限集中を規定しようとしています。「緊急事態」を口実に、憲法のルールをなし崩しにする手法は、ナチス政権をはじめ多くの強権体制が悪用してきたものです。「緊急事態条項」の問題など安倍改憲を立憲主義の視点から批判します。

- 講師：水島 朝穂 氏（早稲田大学法学学術院教授・憲法学）
※1953年・東京出身。法政策論。「現代軍事法制の研究」など著書多数。
- 日時：6月20日（水）18時～
- 会場：衆議院第1議員会館 大会議室



第4回：国民投票法の問題点と私たちの闘い

■安倍政権が継続すれば、2019年にも憲法改正国民投票が実施される可能性があります。憲法改正国民投票は公職選挙法とは異なって、公正を担保する仕組みが非常に脆弱です。憲法改正国民投票の実施に際して想定される問題点を検証しつつ、これからの私たちの闘いを提起します。

- 講師：五百蔵 洋一 氏（弁護士）
※1949年・東京出身。元社文法律センター事務局長。公選法等にも詳しい。
- 日時：7月18日（水）17時～（国会延長の場合18時～）
- 会場：衆議院第1議員会館 大会議室

